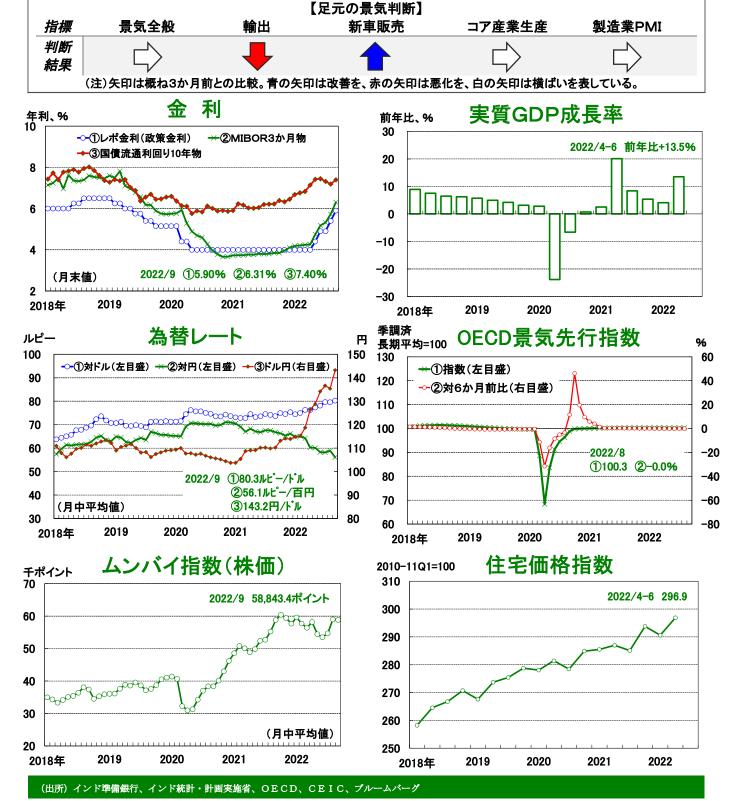
グラフで見るインド経済 2022 年 10 月号(No. 154)

インドの景気を総じてみると、足元では拡大の動きが鈍り、横ばいの動きに変わりつつあるとみられる。8月の輸出は中国向けの大幅な落ち込みが響いて前年比+1.6%と引き続き伸び悩んだ。また輸出の伸び悩みを受けて、同月のコア産業生産指数は同+3.3%と増勢がさらに鈍化した。ただ、同月の新車販売台数が同+21.1%と好調を維持するなど、金融が引き締められているのにも関わらず内需は堅調に推移している。また9月の製造業PMIは55.1と引き続き中立水準(50)を大きく上回り、製造業の景況感が依然良好であることが示された。



本レポートの目的は情報の提供であり、何らかの行動を勧誘するものではありません。本レポートに記載した内容は、レポート執筆時の情報に基づくものであり、レポート発行後に予告なく変更されることがあります。本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。ご利用に関してはお客様ご自身で判断くださいますようお願いいたします。本レポートは情報提供のみを目的として浜銀総合研究所・調査部が作成したものであり、横浜銀行との何らかの取引を勧誘するものではありません。

グラフで見るインド経済 2022 年 10 月号 新車販売台数(乗用車) 鉱工業生産指数 万台 前年比、% 50 150 2022/8 28.1万台(前年比+21.1%、前月は同+11.1%) 40 100 12か月後方移動平均 3か月移動平均 30 50 0 20 -50 10 2022/7 +2.4% -100 0 2019 2022 2018年 2020 2021 2018年 2019 2020 2021 2022 直接投資純流入額 10億ドル 2011-2012年=100 20 180 2022/8 138.6(前年比+3.3%) 2022/7 58.3億ドル 160 15 3か月移動平均 140 10 120 5 100 0 80 2019 2020 2021 2022 2019 2020 2021 2022 2018年 2018年 季調済 製诰業PMI マネーサプライ 前年比、% 中立水準=50 70 40 2022/9 55.1 -•①M1 →•②M3 60 30 boood 50 20 40 10 30 2022/9 注:S&Pグローバル発表。 1+8.8% 2+9.0% 20 0 2020 2021 2022 2019 2018年 2019 2020 2021 2022 2018年 貿易収支 物価指数 前年比、% 10億ドル 前年比、% 200 80 20 ■①貿易収支(左目盛) **◆**①消費者物価 **→2卸売物価** 60 **---②輸出(右目盛)** 150 15 ③輸入(右目盛) 40 100 10 20 50 5 0 0 0 -20 -50 -5 2022/8 ①+7.0% ②+12.4% 2022/8 ①-279.8億ドル ②+1.6% ③+37.3% -40 -100-102018年 2019 2020 2021 2022 2020 2022 2018年 2019 2021

(出所)インド統計・計画実施省、インド商工省・同経済諮問部・同通商情報統計局、インド自動車工業会、インド準備銀行、CEIC、ブルームバーグ

本レポートの目的は情報の提供であり、何らかの行動を勧誘するものではありません。本レポートに記載した内容は、レポート執筆時の情報に基づくものであり、レポート発行後に予告なく変更されることがあります。本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。ご利用に関してはお客様ご自身で判断くださいますようお願いいたします。本レポートは情報提供のみを目的として浜銀総合研究所・調査部が作成したものであり、横浜銀行との何らかの取引を勧誘するものではありません。